

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			・特になし
水質調査結果	基本・補助監視地点 基準値 St.1～4:SS=7mg/l St.5～7:SS=11mg/l	・基準値を超える値は観測されなかった。		
	工事の濁り監視地点 基準値 St.8～18:SS=11mg/l	・St.18で7日午前(12mg/l)、9日午後(12mg/l)、12日午後(12mg/l)、13日午後(14mg/l)、18日午後(12mg/l)、19日午前(15mg/l)で基準値を超える値が観測された。 【基準超過回数:St.18=6回(12～15mg/l)】	・基準値超過日の工事実施状況は、汚濁防止膜設置や大型土のう設置・帆布、石材運搬・投入、浚渫作業があったが、工事箇所周辺の監視地点からは濁りが観測されていないことから、工事による影響ではないと考えられる。 ・基準値を超過した要因は、降雨による流入水路部からの濁水の流入、強風・波浪や低潮位時における底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。	
	流入水路部調査地点	・SS=11mg/lを超えた回数:St.A=55回(12～59mg/l)、St.19=53回(12～61mg/l)、St.20=50回(12～46mg/l)	・流入水路部からの降雨や生活排水などの濁水流入や、波浪による底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。	
	流入水路部調査地点(St.A、St.19、St.20)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	・St.Aでは2日～14日、16日～28日、30日～31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は6日午後(59mg/l)に観測された。		
	・St.19では2日～14日、16日～28日、30日～31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は21日午後(61mg/l)に観測された。 ・St.20では2日～14日、16日～28日、30日～31日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は7日午後と26日午後(97mg/l)に観測された。			
気象概況	監視地点において異常値が観測されたのは7,9,12,13,18,19日であった。 ・7日は北よりの風が強く(最大風力5)であった。 ・9日は東北東よりの風が強く(最大風力4)であった。 ・12日は北東よりの風が強く(最大風力3)であった ・13日は北東よりの風が強く(最大風力3)であった ・18日は北東よりの風が強く(最大風力5)であり、降水量が1mmであった。 ・19日は東よりの風が強く(最大風力4)であった。 (最大風力は調査員による現場観測値)			
補足調査結果(新種等)	・H18年度環境監視計画に基づく「補足項目(新種等)」に関する年間調査計画は以下のとおり。 カビルモ類監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) ニライカクウサ調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オサガニヤドリガイ監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オキナワワラガニ生息監視調査:H18年4月・8月・9月・H19年2月 ・結果についてはホームページにて公表中。			
工事実施状況	・水質汚濁防止膜設置・撤去(C護岸・浚渫工事):2～7,10～14,16日(合計12日) ・大型土のう設置・帆布(D護岸工事):2～4,6～7,10～12,14,17～18,20～28,31日(合計21日) ・石材運搬・投入(C護岸・D護岸工事):4～5,10～14,16～21,23～28,30～31日(合計21日) ・浚渫作業(浚渫工事):23～28,30～31日(合計8日)			

